管理に関するガイドライン（第6.0版）」に適合すること。アクセス制御、操作履歴／監査証跡、暗号化（転送・保存）、バックアップ／リストア、停止時運用（ダウンタイム参照・臨時出力手順）を備えること。

C　構成

コア（ＰＡＣＳ／ＶＮＡ）機能：ＤＩＣＯＭ準拠（Ｃ－ＳＴＯＲＥ／Ｃ－ＦＩＮＤ／Ｃ－ＭＯＶＥ／Ｃ－ＧＥＴ）、DICOMweb（ＷＡＤＯ－ＲＳ／ＱＩＤＯ－ＲＳ／ＳＴＯＷ－ＲＳ）実装、ＩＨＥ Radiology主要プロファイル（ＳＷＦ、ＰＩＲ、ＡＩＲ、ＸＤＳ－Ｉ.ｂ等）対応。ストレージ階層（高速キャッシュ／メイン／アーカイブ）とＩＬＭ（情報ライフサイクル管理）、スタディ重複検知、プリフェッチ、ルールベース自動ルーティング。線量管理：ＲＤＳＲ取り込み・装置別／検査別の線量可視化。

ビューワ：診断用：ハンギングプロトコル、前回比較、ＭＰＲ／ＣＰＲ／ＶＲ、計測、ＰＲ(Presentation State)／ＳＲ表示、キービュー、モニタ校正対応。

参照用：ゼロフットプリント、モバイル／院外閲覧（権限・有効期限・透かし）。

高度解析（例：ＳＹＮＡＰＳＥ　ＶＩＮＣＥＮＴ）：ＰＡＣＳ→解析への送信ジョブ、解析結果のＤＩＣＯＭ戻し（ＳＣ／ＰＲ／ＳＲ／ＳＥＧ）、セッション連携、ＧＰＵ最適化、ライセンス同時使用数管理。

ＲＩＳ／ＥＨＲ連携：ＭＷＬ（Modality Worklist）／ＭＰＰＳ／ＵＰＳ、音声認識レポート連携（ＨＬ７ ＯＲＵ^Ｒ01／ＦＨＩＲ DiagnosticReport）、キャンセル・検査差替え、患者・検査マージ。

共通基盤：セキュリティ管理、ユーザビリティ支援、教育・研究支援、**データウェアハウス／記録管理（レコードマネジメント）機能（アクセス・使用状況ＫＰＩを含む）。

D　端末操作・双方向連携・再入力排除

画面設計・用語・ショートカットを統一し、救急・外来・病棟・読影室・カンファでの快適な作業環境を提供すること。関連サブシステム（ＥＨＲ／ＲＩＳ／紹介予約等）と双方向連携し、患者属性・検査情報・所見を再入力なく活用できること。差戻し理由の記録、重複撮像警告

E　接続性・周辺機器・外部提出

現有モダリティ（ＣＲ／ＤＲ、ＣＴ、ＭＲ、ＵＳ、ＸＡ／ＤＳＡ、ＮＭ／ＰＥＴ、ＭＧ／ＤＢＴ、内視鏡、病理画像 等）およびゲートウェイ、院内ポータル、プリンタ／ＣＤ－ＤＶＤ／ＵＳＢ発行装置、スキャン装置と院内ネットワークで連携・運用できること。院外・行政向けの電子交付は、受け手属性に応じた出力形式・暗号化・透かし・有効期限付与に対応すること。遠隔読影／ＶＰＮ／ＴＬＳでの安全接続を提供すること。

F　性能・可用性

実運用で遅延なく応答し、24時間365日の連続稼働を志向する可用性を有すること。特に朝の撮像集中、救急連続取込、カンファ直前の一斉参照時にも実用レスポンスを維持すること。冗長構成（サーバ二重化、ストレージ冗長、ネットワーク多重化）と計画保守時のダウンタイム最小化、自動フェイルオーバを実現すること。

（例の目標値：院内ＬＡＮにて参照ビューワ初画表示≤ ３秒、前回比較≤ ５秒、同時接続100ユーザ時のスループット維持。数値は規模見積にて最終確定。）

G　セキュリティ管理・障害対策・保守

役割基盤型アクセス制御（ＲＢＡＣ）、最小権限、多要素認証、院外アクセス制御、データ暗号化、改ざん検知、ウォーターマーク（参照用）を備えること。障害対策（フェイルオーバ、バックアップ／リカバリ、ＤＲサイト）を有すること。ベンダは全体保守体制を確立し、インシデント対応、脆弱性パッチ適用、装置追加・プロトコル改訂・法令改定への迅速な反映を提供すること。ＡＴＮＡ相当の監査ログを保存・出力できること。

H　技術情報・教育訓練・エビデンス

運用に必要な技術情報（ＤＩＣＯＭ適合宣言、DICOMweb／ＩＨＥプロファイル、ＲＩＳ／ＥＨＲインタフェース仕様、ハンギングプロトコル設計指針、ＶＩＮＣＥＮＴ連携仕様、線量ＳＲ取扱い等）を提供すること。関係部門（放射線科・各診療科・医療情報部等）への初期・更新トレーニングを実施し、監査・開示対応のためのエビデンス出力手順を整備すること。

I　データ移行

現有ＰＡＣＳ／ＶＮＡに蓄積されたＤＩＣＯＭデータ（Study／Series／Instance、ＰＲ、ＳＲ、Key Image、動画、線量ＲＤＳＲ）および関連メタデータ（患者・検査ＩＤ・装置・撮影プロトコル・所見リンク等）を新システムへ移行し、継続利用可能とすること。将来移行にも対応できるよう、データ辞書・エクスポート仕様・マッピング表を提供すること。本学が認めた第三者の関与を許容し、パイロット移行・対照検証（件数一致・ピクセル一致・ＵＩＤ整合）・移行後監査を実施すること。ＶＩＮＣＥＮＴ等の解析派生物はトレーサビリティ（元画像とのリンク）を保持すること。

2　資料及びコメントの提供方法　上記１⑵の物品に関する一般的な参考資料及び同⑸の要求要件等に関するコメント並びに提供可能なライブラリーに関する資料等の提供を招請する。

⑴　資料等の提供期限　令和８年３月９日17時00分（郵送の場合は必着のこと。）

⑵　提供先　〒683―8504 米子市西町36－１ 鳥取大学米子地区事務部経理・調達課病院物流係　澤田　祥典　電話0859―38―7068

3　説明書の交付　本公表に基づき応募する供給者に対して導入説明書を交付する。

⑴　交付期間　令和８年２月６日から令和８年３月９日まで。

⑵　交付場所　上記２⑵に同じ。

4　説明会の開催　本公表に基づく導入説明会を開催する。

⑴　開催日時　令和８年２月16日11時00分

⑵　開催場所　鳥取大学医学部附属病院会議室５

5　その他　この導入計画の詳細は導入説明書による。なお、本公表内容は予定であり、変更することがあり得る。

6　Summary

⑴　Classification of the products to be procured : 14

⑵　Nature and quantity of the products to be rent : Integrated Imaging Information System 1 Set

⑶　Type of the procurement : Rent

⑷　Basic requirements of the procurement :

A　Scope, Interoperability, Risk & Efficiency

The new system (Integrated Imaging Information System) shall interoperate on an equal footing with clinical and administrative domains and centrally support the end-to-end imaging lifecycle : acquisition → archiving → distribution → viewing／diagnosis → advanced analysis → secondary use (education／research／regional sharing).

To enable regionally integrated care, it shall support secure, CD-less image／report sharing with referring／affiliated institutions and authorities, and provide risk-management functions (patient ID mismatch prevention, radiation dose visibility, reading priority control, audit trails). It shall improve efficiency via prefetch, rules-based auto-routing, standardized hanging protocols, duplicate exam suppression, and barcode／QR media management.

B　Compliance, Disclosure & Auditability

The system shall provide full-text search, versioning (PR／SR／report history), audit logging, and evidentiary exports, and comply with the Guidelines for Safety Management of Medical Information Systems (v6.0). It shall include access control, operation logs／audit trails, encryption (in transit／at rest), backup／restore, and documented downtime procedures (emergency viewing／output).

C　System Composition

Core (PACS／VNA) : DICOM(C-STORE／C-FIND／C-MOVE／C-GET), DICOMweb (WADO-RS／QIDO-RS／STOW-RS), major IHE Radiology profiles (SWF, PIR, AIR, XDS-I.b). Tiered storage (cache／main／archive) with ILM, duplicate-study detection, prefetch, rules-based routing.